

●主な記事

02 今、公民館活動が熱いっ!!

04 地域の物語を語り継ぐ。

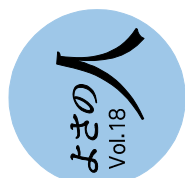
12 平成 22 年度予算

●今月の表紙

市場小学校卒業式 (3月 23 日撮影)



2010 4



宮本町愛宕山 子供歌舞伎保存会



前回開催時の様子。24日は町内の家々を回り数回上演され、24日と25日の祭礼でも奉納される

4月24日・25日の「加賀合祭」を目前に控え、3年ぶりの上演となる「宮本町愛宕山子供歌舞伎」の稽古が熱を帯びてきている。この祭を支えるのが、後野区宮本町の全65世帯で構成される「宮本町愛宕山子供歌舞伎保存会」の皆さんだ。

平成2年に28年ぶりに子供歌舞伎を復活させた有志の一人、保存会相談役の後藤公義さんは当時を振り返る。

「ちょうどその頃、茶屋台を全面修復することになり、自分たちが子どもの頃に見た華やかな子供歌舞伎を復活させて、昔の活気を取り戻したいとの思いで実現に奔走しました」

近隣の町から、子供歌舞伎の指導者がいることを聞きつけ、

後藤さんと現会長の小田達雄さんと、元会長の深田浩さんの3人ですぐにお願ひに向かった。

その人とは、「播州歌舞伎・風潮山一座」の風潮山さん。今でもその光景は印象深いという。

「皆さんの表情からは真剣さが伝わってきました。断れないくらいのが雰囲気でした(笑)」

28年ぶり上演は大成功に終わり、復活に尽力した有志たちの目には自然と涙があふれてきた。

その後、平成6年までと7年から15年までは隔年のペースで行われ、前回は平成19年、そして今回は節目の10回を迎える。

この間、平成2年には小学校4年から6年までに限定しても2組で上演できた舞台も、今回は保育園児にまで対象を広げる

佐藤忠信役の加古川新次さん(右)に稽古をつける風潮山さん。加古川さんに本番への意気込みを聞くところ、「みんなに上手いと思ってもらいたい」と笑顔で答えてくれた



など、少子化の波は宮本町にも押し寄せてきている。

「たしかに子どもが減る中で続けていく難しさもあるが、町内の皆さんの熱意で今日まで続けてこられた。これからももういっうかたちになろうと続けていきたい」と、小田会長は存続への熱い思いを語る。

今年の演目は『義経千本桜 吉野山道行の場』。『南座の縮小版。雄打ちはある』と風潮山さん。

10回を超える全体稽古と自宅での稽古を重ね、本番を迎える6人のちびっ子役者たち。宮本町の皆さんの思いを背に受け、今、舞台の幕が上がる。



男山地区公民館
為村恵美子さん

「いろいろな年代の多くの人が一堂に集い、活動や交流をする機会が減った」という地域の声をきっかけに、布まつり作品展と題した文化祭を企画した。初の試みのため、手作りがスタートとコロナ作戦で周知活動に力を入れた。「広く長く地域とつながる」というテーマで実施したので、今後も続けていきたい」



下山田地区公民館
茂龍 英夫さん

「3年目の継続事業として、園芸講座を実施した。参加者がそれぞれ得意分野について、他の参加者に教えるかたちで実施していることが特徴で、企画や発想は全て参加者からのもの。また、老人会の要望を実現した健康づくり講座や、園芸講座と子ども向け講座のコラボレーションなども試みている」



温江地区公民館
青木 順一さん

「丹後天橋立大江山国定公園指定を機に、エコツアーガイド養成講座を実施した。ガイドだけでなく地元の次世代育成を考え、小学生の親子事業で大江山ツアーも行った。地元の人たちが地域を知ることが大切で、地域で見逃している宝を光らせ、内外に発信することが地域の魅力アップにつながるのでは」

「広報よさの」で各館の活動を紹介します今年度の新連載として、随月で各地区公民館の活動を紹介するコーナーを開始することになりました。各地域の魅力あふれる活動を紹介しますので、ご期待ください！

新連載



築山 崇 京都府立大教授
つきやま たかし、京都府立大学法入理事、京都府立大学地域連携センター長、同公共政策学部教授。専門分野は教育学・生涯学習政策。地域住民がまちづくり（福祉・教育・地域産業など）の主体として自己形成を遂げていく過程における学習活動の役割・位置づけについて、調査・研究に取り組んでいる

●専門家から交流から生まれる新しい力

～公民館研修会に参加して～

も行われました。また、既存の取り組みに新しい要素を加えていくことで参加者の増加につながっている事例も報告され、研修会の場が楽しく、元気のわいてくるものになっています。加えて、園芸を通じた世代間の交流、石川うどんの再現、大江山エコツアーガイドの取り組み、歴史講座など、地区のさまざまな資源に着目した多彩な活動が兄られ、健康づくりなど身近な地域での生活課題に公民館

活動として取り組んだ内容も報告されています。さらに、地区公民館の活動そのものを新たに始められたところもあるなど、少し大げさかも知れませんが、与謝野町の公民館活動全体が新たな盛り上がり、質の転換の時期にさしかかっているように思っています。引き続き、私自身の研究活動としつつも結びつけながら、皆さんとともに与謝野町公民館活動の確かな前進を実現していきたいと思っています。

合併後の自治体経営については、財政・公・共・私の関係、地域自治組織のあり方など、さまざまな検討課題がありますが、行政との協働も図りつつ住民の力で暮らしの質を豊かにしていく見通しを大事にしていきたいと思っています。

今、公民館活動が熱いっ!!

地域コミュニティの活動拠点となる「地区公民館」。今、その地区公民館を舞台に各地区でさまざまな活動が展開されています。今月号では、その現状を伝えとともに、公民館主事と専門家の声から、これからの活動について考えてみたいと思います。



2月26日に開催された研修会の様子

●公民館研修会から地域の宝に光を

●現状を知る

広がりはじめた公民館活動

新町発足以来、合併以前の旧町中央公民館は、中央公民館、岩滝地域公民館（知遊館）、加悦地域公民館と名称を変え、それぞれで活発な活動を行っていました。20館ある地区公民館は、その活動内容に大きな差がありました。また、高齢化が進む中、「町が実施する事業に参加したくても、会場の立地によっては参加できない」という声も少なくありませんでした。そこで、与謝野町では、「総合計画」の中で、地域に根ざした社

会教育を推進するため、「公民館の充実」について方針を定めました。具体的には「社会教育推進基本計画」を策定し、「公民館活動の推進」に重点的に取り組むことを決め、より身近な場所で、近所の人たちが集い、学習できる場づくりとして、地区公民館活動の組織化・普及に努めてきました。地区公民館活動を実施する際は、地域コミュニティの強化を図る意味でも、公民館運営委員会の組織化を促し、合併当初7館でスタートした活動は、翌年度には3館の

新規参入があり、以後少しずつ増え、現在は17館が地区公民館活動に取り組んでいます。

各館では、地区内での活動について広く知ってもらおうと、工夫を凝らした「地区公民館だより（左右巻）」を作成・発行しているほか、年間10種類程度の講座（事業）を計画



し、地域独自の特色ある取り組みを展開しています。

「公民館活動は、質の転換の時期にさしかかっている」

平成20年6月に与謝地方公民館連絡協議会研修会に参加させていただいたのをきっかけに、継続的に与謝野町の公民館活動に関わらせていただくようになりました。研修では、館長・主事さんを中心とした住民の皆さんの自治的な運営による小規模の（身近な）公民館活動の現代的意義についてお話させていただくとともに、各地区公民館の活動の報

告・交流を重視してきました。それぞれの地区には、活動の継承や区（自治会）の活動との関係など難しき問題もありますが、新しいものも含め、活動の交流を進めていくことで楽しさを取り戻すことができ、問題の解決に取り組む元気もわいてくるのではないかと思います。2月26日の研修会では、特にたくさんの新規事業（活動）が報告され、公民館だよりの交流

下山田地区公民館事業「園芸講座」



石川地区公民館では「石川うどん」復活に取り組み



地域の物語を語り継ぐ。

地域に伝わる昔話が地域の人たちの手によって今の時代によみがえる——。そんな素敵な二つの物語を今月はクローズアップします。

CLOSE UP

『あか池の龍神さま』

森山道子さん／笛岡法子さん



完成した『あか池の龍神さま』を手を交す森山道子さん（左）と笛岡法子さん

元小学校教諭の森山道子さん（宮津市）と、その教養子で京都精華大学デザイン学部3年の笛岡法子さん（京大）が共同制作した絵本『あか池の龍神さま』が、1年間の制作期間を経てこのほど完成しました。

このお話は、岩屋の霊岩公園にある赤池にまつわる昔話。自分の家の火事を懸念する人のやさしさに惹かれた受け子の与郎が、日照りに苦しむ村人たちのために立ち上がり、赤池に住む龍神に自分の身をささげようとして雨を降らせるという物語。

文を手がけた森山さんは、宮津・与南地域の小学校で教諭を取り、岩屋小時代には学習発表会でこの物語を劇で発表しました。

「教諭時代、学習発表会用にいくつか脚本作りをしていました。退任後、その書きためてあったものを手直しして、紙芝居づくりと読み聞かせを始めました」

これまでに、丹後ちりめんの発祥を題材にした『だんじりめん物語』（絵・加賀出身の小郷正直さん）や、台風33号に見舞われ、乗客がバスの上で一夜を明かした実話をもとにした『聞かせて！ 津波だんのお話をー』（絵・匠）など作品を制作し、各地で読み聞かせを行っているという森山さん。

ちょうど赤池の物語を紙芝居用に書き終え、絵の描き手を探していた一昨

年の暮れ、偶然、笛岡さんのお父さんと出会いました。

「『娘さんは元気ですか』と必ずねる。『大学で絵を学んでいる』と。絵の上手なお子さんで印象に強く残っていたので、その場ですぐにお願ひしようと思いました」

市場小8・4年生時の担任から声をかけられて貰いだのは笛岡さん。

「舞台が昔の話なので上手く描けるか不安でしたが、お世話になつた先生だったので声をかけてもらってうれしかったです」と笑顔。

その翌年の正月に森山さんと笛岡さんは再会し、森山さんから聞いた20場面構成の、自分なりに物語を読み解いたイメージをもとに、笛岡さんは筆を取りました。

「心がけなのは、『わかりやすく』ということ。まだ、脚本で登場するカエルや小鳥が印象的だったので、絵の中で描はせてみました」

完成作を目にし、「子どもの心をくもつかわね」

森山さん。特に龍神の出来映えに感激し、「なんともきれいな龍神様だろう」という与助の台詞を書き加えました。『まだ紙芝居を描いてみたら』という

お話があるんです（笑）」と森山さん。奇跡的な出会いから生まれた二人の物語はこれからも続いていきます。

メンバー12人中、私も含めてほとんどが結婚して三河内に来た人たちでした。それが逆に新鮮で、地域にまつわるお話を探っていくと、ワクワクする風流感に話がついていきました」と語るのは、三河内小PTA母親委員会前委員長の有田幸子さん。

そのお話を「子どもたちに伝え残しておきたいよき話」として制作したのが、手作り絵本『三河内のむかしはなし』です。

きっかけは、母親委員会の平成21年度事業として、昔の遊び体験やお話し会を企画した行事を計画していた時、三河内在住で郷土の民俗研究をしていた江原重吉さんが遺した『田くその名の由来』という原稿に出会ったことに始まります。「田くそ」とは、三河内の海合地区に隣接する田んぼの地名。「身近な場所を舞台に、こんな素晴らしいお話が存在していた」と委員会の皆さんは感動したと言います。

そしてもう一つ、子どもたちの大好きな三河内県山祭にまつわる修文神社と須賀神社（明石）の神様のお話『山祭りのななし』も収録しようということになり、絵本作りは始まりました。

編集の基本方針は、「原作をもとにした子ども目線での分かりやすい表現」と「方言をたくさん取り入れるこ

と」。仕事や家事、育児で忙しい皆さんでしたが、積極的に地域に足を運んで方言や祭の取材を行いました。

「知らないことはかりで、自分だからとつても嫌悪になつたと同様に、とる話のお話を一つの記録として残すことの重みを感じるようになりました」

時には行き詰まりそうになりながらも、「ぜひかたがとして残してほしい」という地域の人たちの励ましに支えられ、作業は進められていきました。

水彩で描かれたかわいらしいタッチの絵は委員長の方・勢和さんや担当し、趣ある原稿はPTA会員の千賀由香さんが執筆。さらに絵には丹後ちりめんを使い、地域の思いと力がひとつに合わさつた、まさに地域による手作りの絵本が完成しました。

「すべて手作りのため、10数冊しか制作できませんでしたが、いずれは家庭で手軽に読んでももらえる絵本を作りたいと考えています」と有田さん。今後は、原画を紙芝居にして、制作メンバー有志で読み聞かせの活動も展開していくとのこと。

お母さんたちの抱く子どもたちへのささぐりの思いに加え、地域の皆さんの温かさがいついかに込められた二つのお話は、きっと未来へと語り継がれていくことでしょう。

『三河内のむかしはなし』

三河内小学校PTA母親委員会



出来上がった絵本を展示する三河内小学校PTA母親委員会

上段左から、沖村幸子さん、後藤敬子さん、大澤幸子さん、中野幸子さん、下段左から、佐藤幸子さん、江崎幸子さん、佐藤幸子さん、中島幸子さん、有田幸子さん、吉田幸子さん、田中幸子さん（奥段幸子さんは取材時欠席）



まちの話題 お届けします

●ブリティッシュ・カウンシル「エアリアルリンク」プログラム 英国スウィンドン地方から教員らが来町

与謝野町と英国スウィンドン地方（イングランド南西部の都市）が教育を通じた国際交流を開始するにあたり、スウィンドン地方教育局の職員1人と教員7人が3月14日から20日までの期間、与謝野町教育委員会や交流校（小中学校）を訪れ、調印式や意見交換などを行いました。

この訪問は、同じ地域内の複数の学校同士が地域単位で交流する「エアリアルリンク」プログラム（ブリティッシュ・カウンシル主催）の一環として行われたもので、各学校ではさまざまな催しで訪問団を歓迎。訪問団のメンバーは、「スポーツが好きな学校が多い。スポーツで交流するのもいいのでは」と話していました。



三河内小学校では、けん玉を体験



色とりどりの着物姿の女子児童（市橋小）

●小学校卒業式

丹後ちりめんの着物姿で思い出の卒業式に
町立小学校9校の卒業式が3月23日に行われ、260人の児童が6年間訓れ親しんだ学び舎を巣立ちました。中でも、岩屋・市場両小学校の女子卒業生は和装姿で卒業式に臨みました。これは、与謝野町婦人会が「子どもたちに着物文化を体験してもらおう機会をつくろう」と町染色センターで染め上げた丹後ちりめんの着物を、希望する小中学校に提供して行われたもので、今年で3回目となります。頭には髪飾り、中振袖に袴、ブーツ姿の女子児童が入場すると、会場は華やいた雰囲気。着慣れない着物と卒業式の雰囲気に見慣れた表情を見せましたが、出席者全員の思い出に残る卒業式となりました。

●「親子杉」命名式・名所指定式
寄り添って立つ杉を「親子杉」と命名
京都府登録文化財に指定されている木瀬神社本殿の北側に立つ杉の大木を「親子杉」と名付ける命名式が3月28日、同神社で行われ、区役所ら約20人が参加しました。この杉は、地域の人たちによくと樹齢100年以上で、幹の直径は最も太いところで約1.5m、木の高さは約30mといい、一つの株から3本の杉が幹が分かれた珍しい樹木。地元の石田・弓木両区での話し合いの結果、3本が仲良く寄り添いそびえ立っていることから「親子杉」と名付けられました。



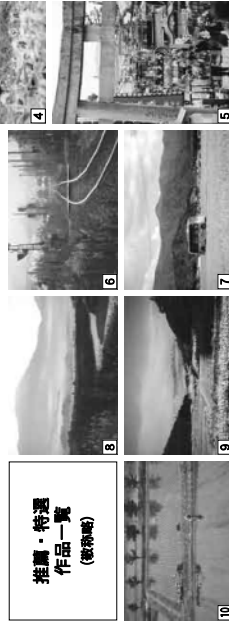
命名式では、宮崎博和弓木区長が「家庭円満を願い、親子杉と命名した」とこれまでの経過を説明。名所宣言をした角尾誠石田区長は、「これを機に、地域の人たちに木に親しむ心を持ってもらえたら」と話していました。

「親子杉」に玉ぐしをささげる参加者

●与謝野町観光フォトコンテスト 写真で見るまちの魅力

「平成21年度与謝野町観光フォトコンテスト」（与謝野町観光協会主催）の審査がこのほど行われ、応募総数116点の中から、推薦3点、特選7点、入選5点が選ばれました。推薦3点のうち、京都府知事賞は、朝もやの中に幻想的に浮かぶ天橋立を板列展望台からとらえた近藤長樹さんの「100万ドルの夜明け」が選ばれました。また与謝野町長賞は、三河内山に祭で燈文神社に奉納される躍動感あふれる神楽を写した大地洋二郎さんの「あはれ獅子」、与謝野町観光協会長賞は、「天橋立ふゆ花火」を鮮やかにとらえた藤原孝一さんの「彩る一字観」がそれぞれ受賞しました。入選作品15点は、町内の公共施設、観光施設で巡回展示される予定です。

- 1/京都府知事賞「100万ドルの夜明け」 近藤長樹（草津市） 2/与謝野町長賞「あはれ獅子」 大地洋次郎（徳島市） 3/与謝野町観光協会賞「彩る一字観」 藤原孝一（三河内） 4/ノクターン賞「30の夕陽」 西村重典（彦根市） 5/丹後ちりめん歴史遺産賞「暖かい」 今井多雄（京都市） 6/加悦SL広域賞「夕陽」 井上敏和（京都市） 7/丹後海陸交通賞「TOまわり快足」 戸川幸男（下山田） 8/京都銀行賞「陸奥の橋」 安部隆雄（岩手） 9/ほくとさん賞「朝陽」 山久恵（香河） 10/京都新聞社賞「里の風景」 矢次雄三（加悦美）



推薦・特選作品一覧（敬称略）

●四辻の地域活動拠点がリニューアル 増改築が進められていた四辻地区公民館がこのほど完成し、竣工式と記念式典が3月13日に行われました。

同公民館は、昭和56年の竣工以来、地域の活動拠点として活用されてきましたが、調理実習室がないことから公民館活動が限定されており、また区事務所の設置も地域から求められていました。今回の増改築では、玄関横を改修して地域念願の区事務所を設置。増築された調理実習室には実習台3台を備えたほか、玄関やトイレは高齢者や障害者にとっても利用しやすいものに改修されています。今後、リニューアルされた公民館を拠点とした地域活動のさらなる充実が期待されます。



新しくなった四辻地区公民館



大々々々の来賓者もびっくりした巨大迷路

●商工会青年部イベント
青年部員手作りの迷路に子どもたちが大歓声
与謝野町商工会青年部主催のイベント「迷路だよ全員集合 お菓子の森の大冒険」が3月13日、野田川森林公園で行われ、1500人を超える親子連れでにぎわいました。青年部員はこの日のために、建設資材などを持ち寄って総長約20mの「巨大迷路」を手作りし、迷路の中央にはクッキーなどのお菓子をプレゼントする「おかしの家」を設けるなど、楽しい迷路を企画。子どもたちは、「おかしの家」を目指して迷路の中を元気いっぱい駆け回っていました。また、手作りパーマクムヘンや石窯ピザなどのバザーコーナーが設けられたほか、夕方からは会場にイルミネーションも灯され、来場者は春の一日を満喫していました。



壁中教室から来賓者にも参加者が発表されました

●人権啓発優秀作品表彰式 子どもたちが考える“人権”の尊さ

「平成21年度人権啓発優秀作品表彰式」が3月14日、加悦地域公民館で行われました。表彰式では、町内の小中学生から応募のあった500点の作品の中から、「いじめやだめ、こころのけがを世界からね」（加悦小1年・山本尊亜菜さん）「人権は 世界じゅうの 合言葉」（加悦中学校1年・大辻雄登さん）などの標語28点をはじめ、作文4点、ポスター13点が優秀作品として表彰されました。応募ポスター全作品は、加悦地域公民館玄関ホールに4月15日まで展示されています。 ※学年は表彰式時点のものです。

食生活改善推進員（以下食改員）は、「私達の健康は、私達の手で」をスローガンに、食育の普及と啓蒙を進める全国的なボランティアの団体です。町が実施した養成講座において、食生活の基礎知識や生活習慣病などについて学んだ後、自らの意思で食改員になることを決めたメンバーで構成され、与謝野町では現在91人で活動中です。

近年、生活習慣病の増加や子どもの心の健康への影響など、毎日の食

「食改さん」という言葉を聞かれたことはありませんか？ 今回はこの「食改さん」という愛称で地域で活動続ける「食生活改善推進員」について紹介します。

食生活改善推進員とは？



中学校で調理実習の補助をする食改員



子どもの頃から望ましい食習慣を身につけ、食の大切さや楽しく食事することをその重要性を知ってもらうことを目的として実施されています。

親子が一緒に料理に取り組むことによって、ふれあいや話し合いの機

こんな活動をしています

地域普及活動として「おやこ食育教室」や「男性料理教室」、他団体との連携活動として「小中学校への社会人講師」や「ふれあいサロン調理教室」、さらに、行政との連携活動として、「離乳食教室」や「在宅障害者料理教室」などを行っています。その中の一部を紹介します。

「おやこ食育教室」

生活の重要性が叫ばれています。食生活が豊かになった今だからこそ、自分にとってどんな食事が必要か、正しい知識を得ることが重要となります。私たちの生活の中でもっとも大切な『食』について、地域の公民館等でのさまざまな活動を通して、生きた知恵を与えてくれる食改員は、不可欠な存在となっています。

食生活改善推進員 養成講座を開催!!

- 【対象】**
- 概ね65歳以下で、すべての講座に出席できる方
 - 講座修了後、食生活改善推進員活動に積極的に参加できる方
- 【日程】**
- 5/12 (水) 13:30～15:30
 - 5/28 (金) 10:00～15:00
 - 6/11 (金) 10:00～15:00
 - 6/25 (金) 10:00～15:00
 - 7/2 (金) 10:00～15:30
 - 7/16 (金) 10:00～15:30
 - 8/6 (金) 10:00～15:00
- 【場所】** 加悦保健センター（元気館）
- 【定員】** 20人（申し込み多数の場合は抽選）
- 【内容】** 食生活に関する講話・調理実習・運動など
- 【申込方法】** 4月26日（月）までに、保健課 ☎43-1514へ。

楽しみながら活動しています

食改員は、町主催の学習会や保健



会が増え、体と心を育てることができ、協力し合いながら楽しく調理する姿は、とても微笑ましい光景です。

「小中学校への社会人講師」

授業の一環として郷土食を伝承したり、調理実習の補助をしたりしています。また、中学校では、生徒のたてた献立を実際に調理する授業に入り、食改員として料理のおもしろさや大切さを伝えています。

あなたも食改員になりませんか？

町では、5月から8月にかけて、左記のとおり「食改員養成講座」を開催します。食を通してのボランティア活動に意欲のある人は、ぜひ受講してください。

所での研修会など、さまざまな研修に積極的に参加することで、自分自身の知識を習得したり、自主研修を年に数回行う中で、会員同士の交流を図ったりしながら、楽しく活動することを目指しています。

食改員は、近所の人たちと一緒に考えながら、自分自身も有っていくことをモットーに、さまざまな人や団体と連携をとりながら活動する食生活の案内役です。気軽に声をかけてみてください。



がんばってます！消防団

編集 ● 消防団本部

心新たに「火災ゼロの町・与謝野町」を目指します

このたび、谷田久典前消防団長の後任として、消防団長を拝命することとなりました。谷田前団長の28年にわたるご苦勞に対し、心から敬意を表します。

消防団や団員を取り巻く社会的環境が大きく変化していき、4月から新体制となりましたが、消防団の思いは一つ、「火事を出さない・出させない」をスローガンに、本年度も引き続き「火災ゼロの町・与謝野町」を目指します。そのために、住民の皆さんと一体となり、徹底した予防活動と消防力の一層の充実を図り、力を願います。



消防団長
澤田 尚登
しやうでん たなべ



野田川方面隊長
三野 明広
みやの あきひろ



岩滝方面隊長
楠田 泰史
すぎの たけし



加悦方面隊長
有本 誠
ありもと まこと



副団長（予防担当）
藤田 敏一
ふじた ひとし



副団長（消防担当）
堀口 清朗
ほりぐち せいら



副団長（健康消防担当）
小長谷 淳
おながや じゅん



野田川方面隊長（予防）
田中 誠
たなか まこと



野田川方面隊長（消防）
小松 理
こまつ りん



岩滝方面隊長（予防）
白飯 忠之
しらべ ただゆき



岩滝方面隊長（消防）
白須 祥介
しらす しょうすけ



加悦方面隊長（予防）
小田 芳男
おだ よしお



加悦方面隊長（消防）
木村 正典
きむら まさのり



岩滝第3分団長
伊藤 繁
いはら かつら



岩滝第2分団長
中田 安樹
なかつ まきひろ



岩滝第3分団長
篠田 嘉徳
しのぶ かつのり



加悦第3分団長
吉田 稔
よしだ みのる



加悦第2分団長
足立 徹生
あだち てつお



加悦第1分団長
加古川 潔
かこがわ けいし



野田川第5分団長
野田川 力
のたがわ つとむ



野田川第4分団長
牛田 昭治
うしだ しょうじ



野田川第3分団長
石本 修一
いしもと しゅういち



野田川第2分団長
浪江 宗弘
なみえ むねひろ



野田川第1分団長
増田 靖彦
ふくた やすひこ



岩滝第4分団長
山口 寿彦
やまぐち しゅん

日 本の4月には新学期・新年度が始まり、忙しい時期だと思えますが、母国イギリスでも4月はいろいろな行事があります。1つ目は午前中に噂をついたり、たずねをししたりするエイプリルフール（4月1日）、2つ目はキリストの復活を祝うイースター、そして、3つ目はイギリスのエリザベス2世女王の誕生日（4月21日）です。

とはいえ、女王誕生日はいつなのか、全く知らないイギリス国民が少なくありません。なぜかというとお生まれになった日は4月21日ですが、誕生会は毎年6月の3週目の土曜日に行われます。皆さんはイギリスの気候的に良いからです。皆さんはイギリスの女王について、どのようなことをご存知ですか。今回は、エリザベス2世のことについて少し紹介したいと思います。

エリザベス2世は、ジョージ6世と王妃エリザベスの長女、エリザベス・アレクサン德拉・メアリー（Elizabeth Alexandra Mary）として、1926年にロンドンで生まれました。当時、エリザベスの祖父、ジョージ5世が国王で、伯父のエドワードが王太子だったのですが、エリザベスが王位を継承するとは予想されていませんでした。しかし、1936年1月、ジョージ5世の死で国王になったエドワード8世が、アメリカ人女性ウォリス・

シンプソンと結婚するため、同年12月に退位されて、エリザベスの父親のジョージ6世が国王になり、10歳のエリザベスも王女になりました。

1947年には、ギリシャとデンマーク王子の息子でもあり、いどこでもあるフィリップと結婚し、4人の子にも恵まれました。1952年にジョージ6世の死により、25歳の若さで女王に即位して以来、58年間在位しています。現在は、イギリスだけではなく、カナダやオーストラリア、ニュージーランド、ジャマイカ、バレーバドス、バハマなど、16の国家の女王・元首でもあります。

立憲君主の女王としての、政治的に中立な立場を守り、儀式上の仕事が多く、他国の大使や客人を迎えたり、国内外の訪問、議会の開会、週に1回首相との秘密会談、慈善団体の後援者の仕事、メダルの贈呈など、1年間に約430の行事に参加されるといいます。

一方で、この忙しい中にも関わらず、国民などからの手紙を読んでも返事をされることもあるそうです。住所を紹介しますので、皆さんち一度手紙を送ってみませんか。

Address

Her Majesty The Queen
Buckingham Palace
London SW1A 1AA
United Kingdom

時の贈り物 [第47回八幡神社末社恵比須神社の本殿]

まちの文化財

四辻地区のほぼ中央に位置する八幡神社の境内に、恵比須神社の本殿があります。境内社のうち、最も古い建物です。恵比須神社の本殿の創建の由緒については分かっていませんが、一説に（現・八幡神社）本殿を文政4年（1821）に新築したとき、旧本殿を曳き移して恵比須神社本殿としたと地元で伝えられており、八幡神社の本殿の前身ではないかという考えもあります。本殿は、八幡神社境内の西、五辻神社と並んで東を向いて建てられています。構造形式上も隅入の春日造りという類例の少ない神社建築で、形式細部の手法の質も高く、神社建造物として高い歴史的・文化的価値が評価されています。年々本殿の建物の老朽化が進み、江戸時代中期の江戸で建てられた恵比須神社本殿裏には文化9年（1812）新調との墨書きが残り、屋根の葺き替えが行われたとの記録があります。近年にも自然災害により被害を受けていますが、復旧にあたっては可能な限り古材を再利用して原型を保持しており、貴重な文化財を後世に残そうとする地元の人々の努力が伺えます。また本殿前には、七福神の恵比須さんが鯛を抱えていることにちなんで作られた、大変珍しい鯛の狛犬が置かれています。例年、4月の最終土・日曜日には「加悦谷祭」が行われますが、この八幡神社では、本殿前で神楽が奉納されています。（与謝野町教育委員会）



恵比須神社本殿

●場所/与謝野町字四辻1番地 八幡神社境内
●指定等/与謝野町有形文化財（建造物）
●平成8年4月23日指定

図書館へ行こう！

BOOKS

●今月のオススめの一冊 本との出会い

2010年は「国民読書年」です。「じゃあ、読もう。」のキャッチフレーズどおり、読みたくなる本への出会いを求めて図書館にぜひお越しください。



『クシュラの奇跡 140冊の絵本との日々』

ドロシー・バトラ／のち書房

重い障害を抱えた4カ月の女の子に、母親は絵本の読み聞かせを始めます。それから3歳9カ月の間に読まれた数々の絵本との出会いがクシュラに豊かな世界を育み、その様子が詳細にレポートされています。子どもの成長にとって本がどれだけの影響を与えるかを実証した名著です。



『つづきの図書館』

柏嶋幸子(作)山本登子(絵)/講談社

おもしろい本に出会うとその続きが気になります。反対に借りられた本が一生涯命読んでくれた人の「つづき」が知りたいこともあるのです。ある図書館の司書が本の中から出てきた登場人物たちに「本の世話をするの仕事」と言われ、驚きながらも人探しを始めます…。

今月の新着図書

【一般書】 ●『上手に傷つためのレッスン』香山リカ/メディアファクトリー ●『乙女の日本史』堀江宏樹/滝乃みわこ/東京書籍 ●『告、言葉は思想であった 語源からみた現代』西部通/時事通信出版局 ●『数学の秘密の本棚』アイアン・スチュアート/ソフトバンククリエイティブ ●『味憶めぐり』山本一カ/文藝春秋 ●『僕の明日を照らして』瀬尾まいこ/筑摩書房 ●『教室の亡霊』内田康夫/中央公論新社 ●『ロスト・シンボル』ダン・ブラウン/角川書店 【児童書】 ●『はじめての坂本電馬』斎藤孝/筑摩書房 ●『オジムの旅（よりみちパン！）』木村元彦/理論社 ●『虫の目で見つめる奇跡の一枚』栗林慧/金の星社 ●『集めて調べる川原の石ころ』渡辺一夫/誠文堂新光社 ●『ふたりでおかいもの』いとうひろし/徳間書店 ●『かえんたいこ』川端誠/クレヨンハウス ●『むくみつかから！』ジョン・バーニンガム/岩崎書店 ●『ほわほわさくら』ひがしなこ/くもん出版

Topics

4月23日～5月12日は、こどもの読書週間です 「たんけんしたいな 本の森」



今年で52回目を迎える「こどもの読書週間（社団法人読書推進運動協議会）」も。また、4月23日は「子どもの読書の日」でもあります。たくさんさんの不思議や驚きの詰まった本を読むことは、子どもたちにとって冒険に似た体験なのかもしれません。ぜひ図書館という本の森へ探検に来てください。

親子で楽しんだ「春のお話会」



「春のお話会」が3月20日、中央公民館で行われ、約50人の親子が集まりました。マザー・グースの会による絵本の読み聞かせや光るパネルシアターなどのプログラムに参加者は楽しんでいました。

Info

図書館おはなし会

＜本館＞5月8日（土）10時30分～、15時～
＜野田川分室＞4月17日（土）15時～
＜加悦分室＞5月8日（土）15時～

4月29日（祝）は開館します！

毎月最終木曜日は館内整理日で全館休館としていますが、4月29日は祝日ですので開館します。

利用者の皆さんへお願い

先月、蔵書点検を行なったところ、全館で行方不明の本があることが分かりました。図書館の本は町民皆さんの財産です。大切にお取り扱いください。

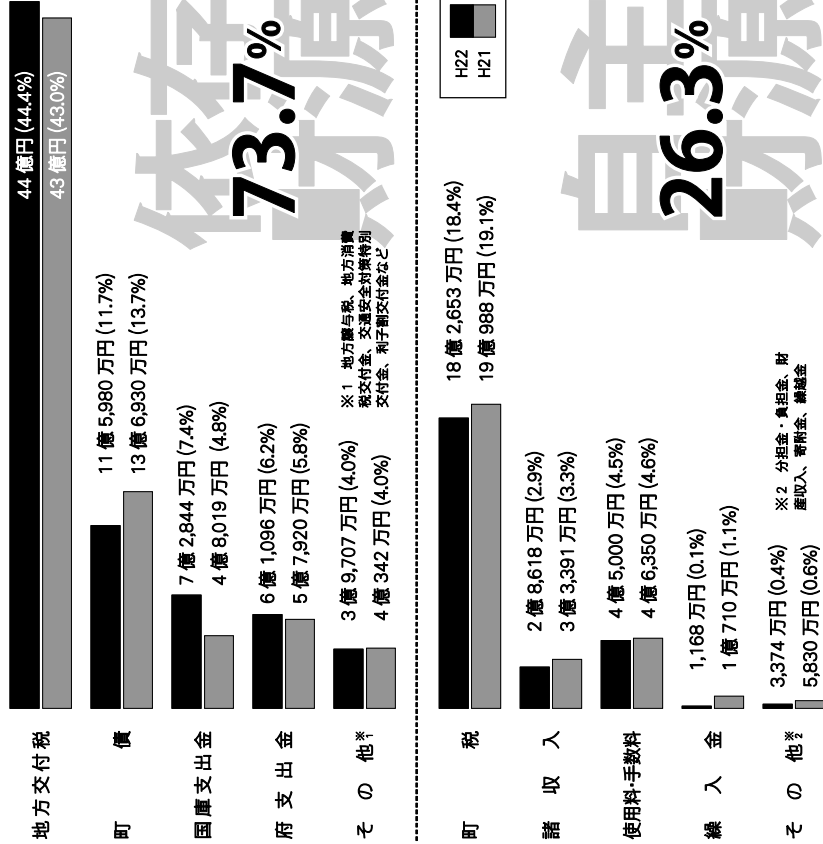
【注意事項】

- 貸し出し手続きを行わずに本を持ち出さないでください。また貸し出し手続きを行ったものを本棚に直接返されてしまうと、返却されたことになりません。カウンターで返却ポストに返却してください。
- 本は汚したり破ったりしないでください。
- 館内は飲食や携帯電話の利用をお断りしています。
- 大声でしゃべったり、暴れたりされると、他の利用者の迷惑になりますのでご注意ください。

●問い合わせ先/与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087

●開館時間/午前 10時～午後6時 ●休館日/毎週月曜（本館・加悦分室）、毎月最終木曜（共通）

一般会計 歳入



一般会計の歳入は、町税や使用料など
と与謝野町が自ら調達できる財源
「自主財源」が、全体の26.3%しかなく、
年々減少しています。一方で地方
交付税や町債・国庫府の補助金などの「依存
財源」が全体の73.7%を占めている状況で、
国等の動向により財政運営も大きく左右され
る、不安定で大揺れしている状況となっています。
内訳をみると、地方交付税が全体の44.4%
といはば大きく、次いで自主財源の要であ
る町税となりますが、昨今の不況の影響から
か昨年度に比べ約8,300万円減額となる見
込みで、財源確保が非常に厳しい状況です。
町債については、前年度より2億9,500万円
減額となっていますが、これは骨格予算に伴
い、投資的経費を必要最小限の事業に限定し
ていることによるものです。その他としては、
国の財源不足により地方交付税から振り替え
られた臨時財政対策債が8億5,000万円、
過年度発生補助災害復旧事業債が4,580万
円となっています。また国庫支出金は大幅な
増となっていますが、これは「子ども手当」
に伴う負担金の増額によるものです。
なお、例年ですと、収支に不足が生じる場
合は財政調整基金を取り崩すことにより財源
調整をしていますが、今年度は骨格予算でも
あることからそれらの調整はしていません。

予算

義務的経費中心の骨格予算に「経済支援策
と住民負担軽減策」を盛り込みました

一般会計 99 億 440 万円・予算総額 174 億 7,726 万円

3月1日から開会された町議会で平成22年度当初予算が審議され、原案どお
り可決されましたのでその概要をお知らせします。平成22年度予算は、4月
11日に町長・町議会議員選挙が執行されることから政策的経費を極力抑え、
義務的経費を中心とした骨格予算ですが、昨今の経済状況を踏まえ、緊急雇用
対策事業、住宅新築改修助成事業、児童生徒医療・各種健康診断の無料化など
を盛り込み、経済支援や住民負担の軽減対策に引き続き取り組んでいきます。

会計別予算額

一般会計別		22年度総額	21年度総額	前年対比
一般	計	99 億 440 万円	100 億 480 万円	△ 1.0%
特別会計				
簡易水道	特別会計	4 億 3,924 万円	10 億 767 万円	△ 56.4%
宅地造成事業	特別会計	84 万円	25 万円	236.0%
下水道	特別会計	14 億 3,123 万円	23 億 2,210 万円	△ 38.4%
農業集落排水	特別会計	7,832 万円	1 億 5,551 万円	△ 49.6%
介護保険	事業勘定	22 億 2,963 万円	21 億 3,458 万円	4.5%
特別会計	サービス事業勘定	1,785 万円	1,225 万円	45.7%
土地取得	特別会計	46 万円	109 万円	△ 57.8%
国民健康保険	事業勘定	29 億 8,327 万円	29 億 6,281 万円	0.7%
特別会計	直診勘定	9,289 万円	9,106 万円	2.0%
老人保健	特別会計	102 万円	2,802 万円	△ 96.4%
後期高齢者医療	特別会計	2 億 1,807 万円	2 億 3,089 万円	△ 5.6%
財産区	特別会計	8,004 万円	8,095 万円	△ 1.1%
合	計	174 億 7,726 万円	190 億 3,198 万円	△ 8.2%
水道事業会計（公営企業会計）				
収益的	収入	1 億 5,998 万円	1 億 4,206 万円	12.6%
収益的	支出	1 億 8,840 万円	1 億 6,646 万円	13.2%
資本的	収入	90 万円	5,118 万円	△ 98.2%
資本的	支出	4,855 万円	1 億 6,908 万円	△ 71.3%

主要事業紹介

「与野町総合計画」のまちづくりの6つの基本目標を柱に、平成22年度の主要事業を紹介します。

1 安心と生きがいのある福祉のまちづくり



- じん職能障害者通院交通費補助事業【継続】130万円
人工透析の通院交通費に対し、府の制度が受けられない方を対象に月額5千円を上回し補助金を交付します。
- 障害者職場実習奨励金助成事業【新規】13万円
丹後園地障害者就業・生活支援センターの設置に伴い、障害者の職場体験・就労能力向上を旨とし、職場実習に取組む福祉施設・事業所に対し奨励金を交付します。
- 介護予防普及啓発事業【新規】158万円
介護予防の普及啓発に努めるため、専門家の指導による指導者（人材）育成講座を年間10回実施します。
- 妊婦健康診査助成事業【継続】1,737万円
母子とも健康な出産を迎えるため妊婦健診を14回まで無料で受診していただけるよう引き続き支援します。

2 伝統を活かし未来にチャレンジする産業づくり



- 緊急雇用対策事業【継続】327万円
国の「ふるさと雇用再生特別交付金（緊急雇用創出事業）」を活用し、雇用機会の創出を図るため、民間企業、NPO等での雇用、直接雇用等さまざまな対策を講じます。
- 経済危機対策事業【継続】3,000万円
町内商工業の活性化に努め、循環型経済の構築を推進し雇用・経済の安定を図るため、住宅政策支援等補助金を交付します。また、中小企業の経営安定化を目的に、経営安定緊急対策利子補給金を交付します。
- 自然循環農業推進事業【継続】1,402万円
自然環境に配慮した循環型農業を推進するため、大豆栽培の推進や、おから肥料「京の豆こ」を使用する農産物の生産支援を行います。
- 商工業振興対策事業【継続】4,485万円
地域産業の活性化を図るため、商工会への支援を行い、新規創業、人材育成、新商品開発の支援制度である商工業振興事業費補助金の条件緩和を行います。

3 自然と安全を守るまちの基盤づくり



- 災害に強いまちづくり事業【一部新規】1,725万円
災害に強いまちづくりを推進するため、明石、弓木地区の堤地の整備を行います。
- 災害復旧事業【継続】1億4,088万円
昨年の台風9号により被災した、道路・河川の災害復旧事業を引き続き行い、早期復旧に努めます。

4 快適でやさらぎのある生活環境づくり



- 有線テレビ拡張事業【新規】973万円
有線テレビの拡張に伴い、平成21年度で完了しなかった加悦地域公共施設設置の情報通信網整備の実施、難視聴解消共同施設の撤去工事を実施します。
- 町営バス運行事業【一部充実】1,237万円
昨年3月16日から運行を開始した「コミュニティバスひまわり」のさらなる利便性向上に努めるためにルート変更を実施し、第2期実証運行を行います。
- スクールガードリーダー事業【新規】54万円
子どもたちの安心・安全を確保するため、昨年まで京都府が実施していた小学校の下校時の見守りを、町の取り組みとして警察OBに依頼し、実施します。

5 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり



- 大名行列開催事業【新規】100万円
平成23年度に開催予定の岩滝大名行列の準備活動経費として、大名行列準備委員会へ補助金を交付します。
- 小学校教育施設整備事業【新規】1億513万円
災害に強いまちづくりを目指し、耐震診断結果に基づいた岩滝小学校校舎の耐震化工事を実施します。また、各小学校の校舎、プール等の計画的な改修、与野小学校の水洗化工事等、子どもたちが安全で安心して教育が受けられる環境整備を行います。
- 第28回国民文化祭開催事業【新規】437万円
平成23年度に京都府内で開催される国民文化祭のプレイベント・準備経費として、実行委員会へ補助金を交付します。

6 協働で進めるまちづくり

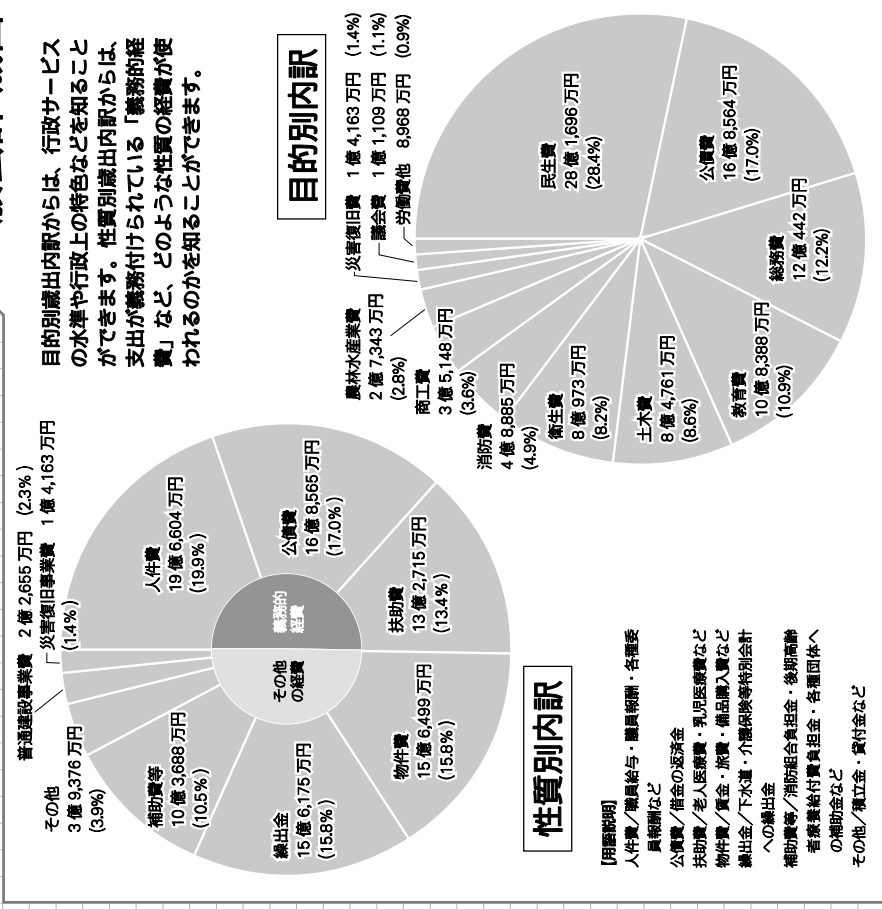


- 住民自治活動支援事業【継続】1,270万円
地域コミュニティの活性化を図るため、自治振興補助金交付事業を引き続き実施します。
- 自治組織支援事業【継続】1,625万円
自治会活動助成補助金、自治振興委託料など地域自治会活動への支援を引き続き実施します。

一般会計 歳出

目的別歳出内訳からは、行政サービスの水準や行政上の特色などを知らることができます。性質別歳出内訳からは、支出が繰落付けられている「義務的経費」など、どのような性質の経費が使われるのかを知ることができます。

目的別内訳



性質別内訳

【用語説明】
人件費／職員給与・議員報酬・各種受給金
公債費／借金の返済金
扶助費／老人医療費・乳児医療費など
物件費／賃金・旅費・物品購入費など
繰出金／下水道・介護保険等特別会計への繰出金
補助費等／消防組合負担金・後期高齢者医療給付費負担金・各種団体への補助金など
その他／積立金・貸付金など

歳

出予算を性質別にみると、職員の人件費や議員報酬、各種委員の報酬などの人件費が一番多く、全体の19・9%となっていますが、前年度と比較すると2791万円（14.4%）の減額です。これは、職員の退職に伴う補充抑制のほか、期末出勤手当の0・2月カットによるものです。扶助費・人件費・公債費などの「義務的経費」は、49億7884万円で全体の50・3%を占めています。前年度と比較すると3億5467万円増加していますが、これは今年度6月から支給開始される子ども手当等が主な要因です。物件費は、有線テレビ拡張に伴う保守委託料などが増えている一方、クアハウス岩滝の指定管理費制度への移行、事務機器備上料の減額などにより、物価費全体では前年度より1・1%の減額となっています。また、普通建設事業費は、前年度より75・3%の減額です。これは、資格昇進に伴うもので耐震補修工事など必要最小限の事業のみを計上していることによるものです。

次に目的別にみると、子ども手当の支給などの増加により民生費が28億1696万円、全体の28・4%となっています。次いで公債費、総務費が続き、学校や公民館などの教育費の順となっています。なお、労働費では緊急雇用対策や経済危機対策として住宅政策支援等補助金などを昨年度に引き続き実施しま

訂正とお詫び
『広報よさの3月号』
(No.49)において、氏
名に誤りがありました。
次のとおり訂正してお
詫びいたします。

●P5 (漢字誤り)
平 菜那美さん
●P6 (ふりがな誤り)
佐々木 健心 君

- 与謝野町役場
☎ 46-3001 (代表)
- 岩滝地域振興課
☎ 46-3002
総務課
☎ 46-3003
☎ 46-3004 (消防安全課)
企画財政課
☎ 46-3084
☎ 46-3085 (障がい課)
建設課
☎ 46-3267
商工観光課
☎ 46-3269
会社室
☎ 46-3007
- 野田川庁舎
☎ 44-2081 (代表)
- 野田川地域振興課
☎ 44-2082
住民環境課
☎ 44-2083
税務課
☎ 44-2084
水道課
☎ 44-2085
下水道課
☎ 44-2086
- 加悦庁舎
☎ 43-1511 (代表)
- 加悦地域振興課
☎ 43-1512
福祉課
☎ 43-1513
保健課
☎ 43-1514
農林課
☎ 43-2191
議会事務局
☎ 43-0215
教育委員会 教育総務課
☎ 43-2192
教育委員会 教育推進課
☎ 43-2193



三内内夷山祭
5/3(祝)・4(祝)
三内内地区



滝の千年ツバキまつり
4/18(日)9:30~15:00
滝の千年ツバキ公園



初夏の加悦鉄道まつり
5/3(祝)・4(祝)
加悦S.L広場



加悦祭
4/24(土)・25(日)
加悦・野田川地域 (三内内除く)



双峰まつり
5/4(祝)
加悦双峰公園



岩滝祭
5/1(土)
岩滝地域 (全地区)

特急のり放題 2人用のお得きっぷ
「KTRエクスプレス・ペア」
好評発売中!!

北近畿タンゴ鉄道内の普通列車、快速列車、
特急列車の自由席に、2人同時で1日乗り
放題のお得切符です。夫婦、カップル、友
人、平日も週末もぜひご利用ください。

●発売期間 平成23年3月31日(木)
●発売額 2,500円 (大人のみ設定)
●発売場所 KTR有人駅

☎北近畿タンゴ鉄道 0773-24-2510

2,500円
乗車券2枚、乗車券代金2枚分
乗車券2枚、乗車券代金2枚分
乗車券2枚、乗車券代金2枚分

SPRING
EVENT INFO

まちのお祭りとイベントで
楽しい春の一日を満喫!!

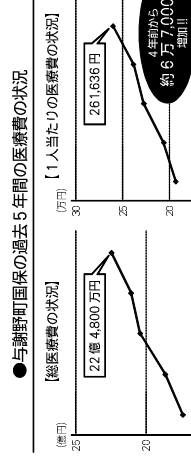


国民健康保険の医療費の動向をお知らせします
与謝野町国民健康保険

☎ 43-1514 国民健康課

国民健康保険(国保)は、みんなで支え合う国民皆保険制度として、医療保険制度の中心的な役割を担い、皆さんの医療の確保と健康の保持増進に大きな役割を果たしています。

しかし、近年の医療費の動向は年々増加傾向で、このまま医療費が増え続けると、医療費の負担のほかに、保険料も高くなり、家計の負担が大きなものとな



なっています。

そこで、今回は与謝野町国保の医療費の状況をお知らせし、医療費の有効な使い方について考えていただきたいと思います。

大切な医療費を有効に使うために

国保財政の大きな財源は、皆さんにご負担いただく保険料です。健康を維持することは

●与謝野町国保の疾病分類別医療費の占める割合 (上位10位)

【入院外】

【入院外】

【入院外】

【入院外】

【入院外】

【入院外】

【入院外】

【入院外】

【入院外】

【入院外】

もちろん、医療費を有効に使うことを考えることが重要です。

【ポイント①】
定期的に健康診断を受診しましょう

健康診断は現在の自分の身体の状態を知る大きな手がかりです。

与謝野町では、年1回の特定健診と、がん検診を同時に受診できる機会を設けています。健診は無料で、休日の実施日もありま

疾病項目	割合
総合失調症・変態性障害	12.68%
消化器系疾患	11.59%
その他慢性新生物	8.39%
結核の慢性新生物	4.68%
胃の悪性新生物	4.49%
脳梗塞	3.95%
胃不全	3.91%
悪性リンパ腫	3.57%
白内障	3.57%
虚血性心疾患	3.23%
糖尿病	1.98%

【ポイント②】
かかりつけ医・薬局の利用をおすすめします

医療機関受診の際に、複数の医療機関を受診することは、受診する度に検査や処置・投薬を行うことから医療費の負担が多くなります。すぐに相談できる医師を決めておけば、自分の体調、病歴等を分かつた上で、適切なアドバイスが得られます。

また、薬局を1つに決めておけば、別々の医療機関で処方された薬の重複や、悪い飲み合わせなどを未然に防ぐこともできます。

【ポイント③】
ジェネリック医薬品を利用しましょう

ジェネリック医薬品とは後発医薬品のことです。新薬(先発医薬品)の特許期間が過ぎた後に製造販売される医薬品です。開発コストが

るので、積極的に受診しましょう(日程は後日お知らせします)。

【ポイント④】
かかりつけ医・薬局の利用をおすすめします

医療機関受診の際に、複数の医療機関を受診することは、受診する度に検査や処置・投薬を行うことから医療費の負担が多くなります。すぐに相談できる医師を決めておけば、自分の体調、病歴等を分かつた上で、適切なアドバイスが得られます。

また、薬局を1つに決めておけば、別々の医療機関で処方された薬の重複や、悪い飲み合わせなどを未然に防ぐこともできます。

【ポイント⑤】
ジェネリック医薬品を利用しましょう

ジェネリック医薬品とは後発医薬品のことです。新薬(先発医薬品)の特許期間が過ぎた後に製造販売される医薬品です。開発コストが

ジェネリック医薬品は、新薬を処方されている人がジェネリック医薬品に切り替えることができます。長期の投薬が必要な人など、家計の負担が大きく軽減される場合もあります。

【処方箋の注意】
ジェネリック医薬品に変更できない場合もあります。

医師、薬剤師にご相談ください。

ジェネリック医薬品は、新薬を処方されている人がジェネリック医薬品に切り替えることができます。長期の投薬が必要な人など、家計の負担が大きく軽減される場合もあります。

【処方箋の注意】
ジェネリック医薬品に変更できない場合もあります。

医師、薬剤師にご相談ください。

お悔やみ
(代表者)

町内に配布している
広報誌には掲載しています

おめでとう
ご報告
(代表者)

まちのうごき
平成22年2月末現在
人口 24,786人 (-13)
男 11,707人 (+1)
女 13,079人 (-14)
世帯数 9,059戸 (+1)
※括弧内は前月比